

カイコの育て方

カイコを育てることは特別むずかしいことではありませんが、ただ、他の昆虫とちがって、人間が手をかけてあげなければ、生きていけないことを忘れないでください。飼育途中で林や野原に放しても、えさを探すことも、鳥やその他の昆虫から身を守ることもできません。大切に育ててください。

飼育方法



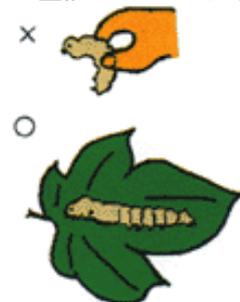
容器の中に紙（新聞紙でも可）を敷きます。

桑の葉の与え方



新しい葉を幼虫の上にかぶせる。

幼虫は直接手でつかまない



- ①飼育容器は、お渡しした発砲スチロール容器か同じ大きさの紙の箱（菓子箱）を用います。ふたをしなくても逃げませんので安心してください。直射日光の当たらない風通しの良い場所で飼育しましょう。付近での蚊取り線香や電子蚊取り器、殺虫剤は、絶対に使わないようにしてください。
- ②新鮮な桑の葉を1日に2～3回（朝と夕）、蚕の上にかぶせるように与えます。蚕が新しい桑に移ってから、古い桑や糞を取り除きます。蚕はしおれた葉を食べません。底に紙を敷きながら飼育すると掃除が楽です。
- ③食べる量は生育にともなって多くなっていきますが、次に与える時に多少残る程度が目安です。あまり与え過ぎると、桑が無駄に残ってしまい足りなくなってしまうので注意してください。
- ④配布された桑の葉は、ビニール袋に入れて冷蔵庫に保管するか、冷蔵庫が無い場合は、新聞紙に包んで、保冷剤といっしょにクーラーボックスに入れておけば、1週間近く使うことができます。
- ⑤5齢の蚕は糸を吐く準備ができると、体が少し小さくなり黄色く透き通ったようになります。桑の葉も食べなくなります。熟蚕（じゅくさん）と呼びます。この熟蚕を厚紙で作ったわく「まぶし」に移してやると2日くらいで繭を作ります。繭を作るとき水気の多い糞をします。

「まぶし」の作り方

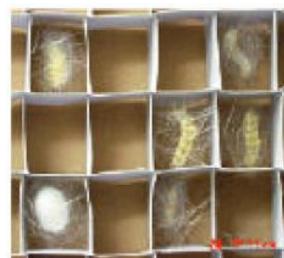
厚紙で作った枠の中にカイコが入って繭を作ります。

○用意するもの：厚紙、新聞紙、ハサミ、ものさし

○作り方

厚紙を幅4cmに切ります。長さはカイコの数で決めてください。

厚紙に切れ目用の印をつけます。横用は4cm間隔、たて用は5cm間隔で2cmの深さ

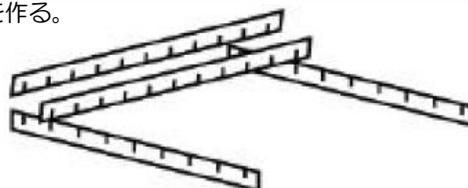


厚紙に切れ目を入れてワクを作る。

印をつけたところをハサミやカッターで切ります。

たて横用の厚紙の切れ目どうしを差込み組み立てます。

完成したら、まぶしを壁などに立てかけ、下に新聞紙を敷きます。



- ⑥繭作りを開始してから10日後、まぶしから繭をとります。繭ができて約2週間たつと、成虫が羽化します。